



## 環境改善活動

### ■ 研究者倫理

名古屋工業大学の「研究者倫理に関するガイドライン」の第3条第2項において、「実験の過程で生じた廃液，使用済み薬品や材料等は，自然環境に害を与えないように処理しなければならない。」とあり，環境維持に向けての研究者，教育者としてのあり方を規定しています。

### ■ 省エネルギーキャンペーン

省エネルギーの取り組みとして，夏季(5月1日～10月31日)において，各研究室・事務室などの室温適温化(28℃)を推進しています。この取り組みを徹底するため，夏季の職員の服装については，暑さをしのぎやすい，ノーネクタイ・軽装を推奨しました。

### ■ 夏季一斉閉庁

夏季の電力使用量の削減を目指して，2021年は8月12日(木)，13日(金)，16日(月)の3日間を一斉閉庁としました。一斉閉庁期間中は，OA機器・電化製品のコンセントを抜き，待機電力の削減に努めました。

この一斉閉庁により，約36,294 kWh(8月12, 13, 16日の3日分)の電力使用量を削減することができました。CO<sub>2</sub>に換算すると約19.6tの削減量となります。



## 学生環境改善プロジェクト

### 生協学生委員会

学生たちの活動を  
紹介します！



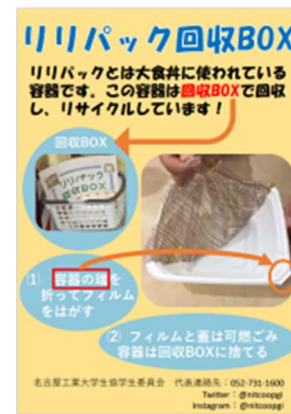
Copyright 2009-2013 Nagoya Institute of Technology  
(MMDAgent Model "SD Me")  
Copyright 2009-2013 Nagoya Institute of Technology  
(MMDAgent Model "Smile of SD Me")

私たち生協学生委員会は大学で生活している学生に対し、よりよい大学生活を過ごしてもらうために様々な企画を提案し、活動をしています。それらの多岐にわたる活動の一環として“環境に関する活動”も行っています。

コロナ禍前は、大学会館前の中庭清掃を何度か行なったり、花壇にひまわりの種を植えて当番制で毎日水やりを行なったりしました。しかしコロナが流行し始め、これらの企画を行うのが困難になったので、2020年度から中断しています。

### ●リ・リパック回収促進活動

上記の活動の他に、生協学生委員会が行っている活動として、リ・リパックの回収があります。大学内の建物にあるごみ箱に回収カゴを設置して、常時、回収をしています。しかし、リサイクルできるということを知らない人もいて、ごみ箱にそのまま捨てられていることもあります。そこで、回収推進のために、2021年度は、12/6～12/10の1週間、リ・リパック(大食丼の容器)の回収企画を行いました。リ・リパックは常時回収していますが、期間中に回収に協力してくれた方には「回収率に応じた値引き」を実施しました。学内にポスターを貼り、宣伝を行うことでリ・リパックの認知度向上を図りました。



### VOICE ～生協学生委員会より～

世界中で問題となっている環境問題を解決していくために、大学内でも、大食丼を食べた方にはリ・リパックの回収に引き続き協力をしてもらいたいと思っています。2022年度の後期からはリ・リパック回収ボックスに質問コーナーを設け、選択肢が書かれた箱にリ・リパックを捨ててもらふことによって、楽しみながらリ・リパックの回収活動に参加してもらおうと考えています。これからも、生協学生委員会は、学生や職員、教員のみなさんと環境に配慮した活動を続けていきたいと思っています。

